

子どもの発達に関する質問紙

Questionnaire of Child's Development (Q-CD)

201608MCR©

記入： 年 月 日 氏名： (続柄)

対人関係やこだわりに関する質問項目	いいえ	多少	はい
大人びている、ませている。			
みんなから「○博士」「○教授」と思われている(例：カレンダー博士)。			
他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている。			
特定の分野の知識を備えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない。			
含みのある言葉や嫌みを言われてもわからず、言葉通りに受け止めてしまうことがある。			
会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある。			
言葉を組み合わせて、自分だけにしかわからないような造語を作る。			
独特な声で話すことがある。			
誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す(例：唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶ)			
とても得意なことがある一方で、極端に不得意なものがある。			
いろいろなことを話すが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない。			
共感性が乏しい。			
周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言うてしまう。			
独特な目つきをすることがある。			
友だちと仲良くしたいという気持ちはあるけど、友だち関係をうまく築けない。			
友だちのそばにはいるが、一人で遊んでいる。			
仲の良い友達がいない。			
球技やゲームをするとき、仲間と協力することに考えが及ばない。			
動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある。			
ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある。			
自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる。			
特定の物に執着がある。(物： <input type="text"/>)			
他の子どもたちから、いじめられることがある。			
独特な表情をしていることがある。			
独特な姿勢をしていることがある。			
特定の視覚・嗅覚・聴覚・触覚などの刺激に対する敏感さあるいは鈍感さがある。(追)			
合計		コミュニケーションおよび対人的相互反応における持続的な欠陥(14)	
		行動・興味・活動の限定された反復的な様式(7)	
		その他(5)	
		合計	

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実施調査
対人関係やこだわりに関する質問項目(2003年)より一部改変